ほぼ週刊コラム　Partnership論　その２１３

**シリーズ：『米国Partnership税制勉強会』**

**第二十九回勉強会（通年内容は**[**年表rev.9**](http://llc.a.la9.jp/Papers/evolution%20history/evolution%20history%20of%20US%20partnership%20taxation%20rev9.ppt)**参照方）の準備**

**A backlash！**

20161111 rev.1 齋藤旬

 [**Inventing the People**](https://www.amazon.com/Inventing-People-Popular-Sovereignty-England/dp/0393306232/ref%3Dsr_1_1?ie=UTF8&qid=1477553338&sr=8-1&keywords=Inventing+the+People)**の**[**半訳作業ファイルwork**](http://llc.a.la9.jp/Papers/Inventing%20the%20people/Inventing%20the%20people%20HanYaku%20work3.docx)**3を作成した。**

1．The Divine Right of Kings　神授王権 6-9

今週はこれらを和訳した。

　**米大統領選の結果には驚いた**。ただ、後付けで考えてみると、鉄鋼業や石炭産業など衰退産業で中産階級だった人々の当然の反応の結果、と言える。そういう人達は潜在的にはトランプ支持だが公然とそれを口にするのははばかられた。トランプ支持が増えるのを横目で見ていた。選挙直前に支持率がヒラリーと僅差になるのを見て、こういったトランプ潜在支持層が一気に雪崩を起こしたのだろう。正に、a landslide election victory（地滑り的勝利）だった。

　別の言い方をすれば、a backlash（反動）が起きた。Klaus Schwabが予測したとおりだ。

　該当箇所を[『第四次産業革命』](http://llc.a.la9.jp/Papers/IR4/The%20Fourth%20Industrial%20Revolution%20by%20Klaus%20Schwab%20fd02.docx)の7 pageから転記して、今週のコラムとしたい。

私は確信している。第四次産業革命はあらゆる点において先の三革命と同等に、powerful, impactful and historically importantとなる。ただそれには、二つの懸念事項がある。第四次産業革命の潜在力を削ぎ、その全体が整合性をもって効果的に進行しなくなりかねないfactorsがある。

一つは、understanding不足。即ち、現在進行中の変化に対するunderstandingとそれに必要なleadershipのlevelsが、all sectorsに渡って低いと私は感じている。第四次産業革命に対応して、私達の経済政治社会体系（economic, social and political systems）を根本から見直さなければならないはずだが、それに比べると全く低い、不十分であると私は感じている。その結果、national and globalの両levelsにおいて、innovation拡散をgovernしそれに伴うdisruptionを和らげるための制度枠組みが良く言って不適当、悪く言えば全く存在しない。

二つ目は、物語の欠落。即ち、第四次産業革命に伴うopportunities and challengesを概観するための、a consistent, positive and commonなnarrative（物語）をthe world（地上世界）は欠いている。多様なindividualsとcommunitiesをこの革命遂行のためにempowerしようとするならば、これからこの根本的変化が見せる幾つかの局面によっては、人々はbacklashを起こすかもしれない。これを予防するために、そういった物語が何よりも重要となる。

　つまり、鉄鋼業や石炭産業など衰退産業で中産階級だった人々が、第四次産業革命が招く時代にpositive narrative（明るい物語）を見いだせなかったために、トランプ候補が勝利したのだろう。

今週は以上。来週も請うご期待。